

令和6年度事業計画

〈概要〉

令和6（2024）年は、新潟市會津八一記念館がメディアシップに移転して10年目となる。本年は、會津八一と親交を結んでいた文化人や同年代の芸術家との関係性に焦点をあてた展示を企画する。

特別展は、八一が酷愛した奈良・大和路を舞台に八一が詠んだ奈良歌と親交のあった写真家入江泰吉（1905～1992）と画家杉本健吉（1905～2004）の作品を通して、3人の芸術家を魅了した大和路の美を紹介する。

企画展では、春は、八一との合作を残すなど交流を深めた文化人らを取り上げ、夏は、南画家富岡鐵齋没後100年を記念し、鐵齋と八一の文人世界を深掘りし、冬は、「八一を知る八一がわかる」シリーズ第4弾「書之美」をテーマに、15歳から75歳の絶筆作品に至るまで八一の書の変遷を紹介する。併せて第18回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

普及活動では、これまで3年連続実施した野中館長の「書に親しむ」講座に代えて、新たにシリーズ「書の体験講座」を企画する。また、昨年好評だった新潟県内の高校書道部員を対象とした「高校生拓本大会」、八一のいしぶみ巡り（新潟市内）第3弾、俳優松村雄基氏と新潟大学角田勝久教授によるトークイベント第5弾、毎年恒例の写真コンテスト全国巡回展などを計画。トークイベントや体験型の講座を取り入れながら、八一の芸術や人柄を身近に感じ、より深く理解できるような内容を構築していく。

新潟市名誉市民・會津八一の業績や人柄に若い世代から高齢世代に至るまで関心をもってもらえるような視点で企画し、生涯教育に生かせるよう展開していきたい。

〈事業計画の内容〉（企画展181万円 特別展300万円）

（ア）展覧会事業 開館日数 283日

分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1 企画展	會津八一と秋艸堂に集う文化人たち	4月2日（火）～6月23日（日） 72日間	會津八一の周囲には、恩師・坪内逍遙などの諸先輩から、歌人・吉野秀雄などの学芸の門下生まで、様々な文化人が往来し、歓談したという。そのような交流の中で、八一は友人のために書を揮毫したり、合作の作品を制作したりしている。本展では当館所蔵の文化人との関連作品資料を中心に紹介する。
企画展	富岡鐵齋没後100年記念 鐵齋・八一文人世界展	7月2日（火）～9月23日（月祝） 73日間	鐵齋没後100年を記念する企画展。鐵齋と八一は、書を生業としなかったが、書の見識を以て独自の美しさを生み出した芸術家で、その書を「文人の書」として位置づけている。展覧会では、二人の多岐にわたる書の表現方法の共通性や違いについて、それぞれの墨蹟を展示し、書道界で字形や技法を尊ぶいわゆる「書家の書」に対して問題提起を試みたい。
3 特別展	會津八一と大和路 —入江泰吉・杉本健吉とともに—	10月1日（火）～12月8日（日） 60日間	奈良・大和路を題材に多くの作品を残した画家・杉本健吉（1905～2004）、写真家・入江泰吉（1905～1992）について、會津八一との交流を交えて紹介する。杉本の奈良関連の作品資料を収蔵している奈良県立美術館と、入江の作品を収蔵している入江泰吉記念奈良市写真美術館の協力を仰いで、3人の芸術家が表現した大和路の美を紹介したい。
4 企画展	八一を知る 八一がわかる —書之美編— 同時開催 第18回會津八一の歌を映す 写真コンテスト入賞入選作品展	12月17日（火）～令和7年3月23日（日） 78日間	シリーズ第4弾は〈書〉をテーマに企画。15歳のときの菊図の文字から、75歳のときの絶筆《相見呵々咲》までの間、書風の変遷を墨蹟や原稿、書簡、雑誌などで紹介する。また、八一が影響を受けた古代文字の拓本、独自の修練方法とそれを解説した原稿、様本、文房具類も陳列。それらを通じて八一の独自の書の魅力に迫りたい。

展示替えのための休館日	6/24～7/1(8日間)、9/24～30(7日間)、12/9～16(8日間)		
作品解説会	企画展 期間中	月2回（第2、4日曜日）	午前11時
	特別展 期間中	毎週日曜日	午前11時

(イ) 普及活動 ※交渉予定も含む

[講演会] (120万円)

- 八一祭記念イベント
内 容：高校生拓本大会（左野勝司氏制作の八一書の石版をもとに）
日 時：7月31日（水）または8月上旬
会 場：メディアシップ 日報ホールまたはナレッジルーム
- 特別展記念トークイベント
出演者：松村雄基氏（俳優、書家）、角田勝久氏（新潟大学教授）
内 容：未定
日 時：10月6日（日）または19日（土）午後2時～3時半
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名
参加費：1,500円
- 特別展記念講演会
講 師：未定
演 題：未定
日 時：未定
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名
参加費：未定
- 春・文芸講演会
講 師：未定
演 題：未定
日 時：未定
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名
参加費：500円
- 夏・文芸講演会①
講 師：野中浩俊館長
演 題：鐵齋・八一文人世界
日 時：令和6年8月31日（土）午後2時～3時半（予定）
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名
参加費：500円
- 夏・文芸講演会②
講 師：横田恭三氏（花咲記念資料館長、跡見学園女子大学文学部教授）
演 題：未定
日 時：令和6年9月8日（日）午後2時～3時半（予定）
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名
参加費：500円
- 冬・文芸講演会
講 師：未定
演 題：未定
日 時：令和7年2月か3月中
会 場：メディアシップ 日報ホール
定 員：120名
参加費：500円

〔学習講座〕

☆シリーズ・書の体験講座 年3回（12万円）

- ① 絵手紙体験
日 時：未定
講 師：絵手紙協会を通じて講師を依頼
会 場：未定
定 員：未定
参加費：未定
- ② 年賀状作成
日 時：未定
講 師：田中藍堂氏（書家）
狩野芳明氏（新潟県書道協会事務局長、記念館評議員）に依頼
定 員：未定
参加費：未定
- ③ 篆刻体験
日 時：令和7年2月22日（土）、3月8日（土）、9日（日）のいずれか1日
午前10時～午後4時
講 師：佐藤雄司氏（新潟県立工業高校教諭）
小川貴史氏（新潟県立東高校教諭）
会 場：ナレッジルーム（メディアシップ 6 階）
定 員：30名
参加費：2000円（入館料を含む）で検討

学習講座（会費で充当）

- 會津八一の歌を読む会「かまづかの会」
講師：若月忠信氏（文芸評論家）
日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時
会場：砂丘館

出前講座

4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに出前講座の案内を送り、依頼のあるところから実施

〔文学散歩〕

會津八一のいしぶみ巡り（新潟市内）約5km

- コース：メディアシップ⇒浅川園⇒北方文化博物館分館⇒西海岸公園⇒旧會津記念館⇒會津八一生誕跡⇒瑞光寺
日にち：令和6年10月か11月
時 間：午後1時から午後4時
定 員：15名
参加費：800円、保険料、入館料、冊子代込み

〔公 募 〕

「會津八一の歌を映す」第18回秋艸道人賞写真コンテスト（300万円）

- ① 令和6年4月 :ポスターと応募要項の制作と発送
② 11月中旬 :締め切り
③ 12月上旬:審査・結果発表
④ 令和7年2月 :表彰式

〔 巡 回 展 〕

第 17 回「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

いかるがホール（奈良県斑鳩町）	4 月 1 日 ～4 月 20 日	入賞作品 7 点 + 県外入選者
奈良県立図書情報館	5 月 14 日～5 月 26 日	入賞入選 30 点
中村屋サロン美術館	6 月 8 日～7 月 15 日	入選入賞 30 点
三千院	7 月予定	入賞作品 7 点
高松市市民活動センター	10 月予定	入賞入選 30 点、複製作品、浅井慎平作品 3 点
胎内市産業文化会館	11 月予定	入賞入選 30 点、浅井慎平作品 10 点程度

〔 そ の 他 〕

鑑定会 春秋 2 回を予定（2 1 万円）

春の部

日時：令和 6 年 5 月 3 0 日（木）を予定 午後 1 時 30 分～3 時

会場：會津八一記念館